

「食」と「音楽」で子どもの未来を彩る。社会福祉法人さぽうと21、 新プロジェクト『こども音楽食堂』を始動

3月7日(土)東京芸術劇場にて、プロジェクトの魅力を伝える「スマイル・コンサート」を開催。

社会福祉法人さぽうと21(所在地:東京都品川区、理事長:蘭信三)は、現代日本における子どもの「体験の格差」の解消を目指す継続支援プロジェクト『こども音楽食堂』を立ち上げます。



■ 立ち上げの背景: 食事の支援だけでなく「心の栄養」を

現代日本における「子どもの貧困」は、単なる食事の欠乏にとどまらず、文化・芸術に触れる「体験の格差」としても深刻化しています。本プロジェクトは、お腹を満たす「安心できる食事」と、心を育む「質の高い生演奏」をセットで提供することで、子どもたちに心身両面の栄養を届けることを目的としています。

■ 3月7日(土)キックオフ・イベント「スマイル・コンサート」開催

プロジェクトの本格始動にあたり、その理念を体感していただくためのコンサートを開催します。

- ・ 開催日時: 2026年3月7日(土)14:00~15:15(13:00 開場)
- ・ 会場: 東京芸術劇場 コンサートホール
- ・ 出演: パシフィックフィルハーモニア東京(管弦楽)、河合尚市(指揮)、西端ちひろ(MC)
- ・ 対象: 児童養護施設の子どもたち、自治体、報道関係者(※完全招待制)
- ・ 内容:
 - 子どもたちが親しみやすい楽曲を中心とした、オーケストラによる迫力ある生演奏。
 - 終演後には、楽団員から直接、「食」のおみやげを手渡しでプレゼントします。



■ 本プロジェクトが目指す「4つの持続可能なサイクル」

単なるボランティア活動に留めず、社会課題解決と企業の持続的な支援を結びつけます。

1. **企業サンプリングの場**: 食品・教育関連企業等が製品体験を提供する接点となり、支援とマーケティングを両立させます。
 2. **非認知能力の育成**: ボディパーカッション等の参加型プログラムを通じて、子どもの自己肯定感向上をデータ化します。
 3. **地域キャリア教育**: 多様なプロの仕事を見せることで、社会を支える仕事への興味を喚起します。
 4. **地域コミュニティのセーフティネット**: 音楽をフックに心理的ハードルを下げ、支援が必要な家庭を早期に発見・接続します。
-

■ 主催団体について

- **社会福祉法人さぼうと 21**

1992年設立。インドシナ難民等の定住支援から始まり、現在は生活困難者への自立支援や学習支援事業を展開しています。

■ 出演者プロフィール

- 管弦楽:パシフィックフィルハーモニア東京

1990年設立。飯森範親音楽監督のもと、クラシックからアニメ、ゲーム音楽まで多彩な演奏を展開。子どもたちに音楽を届ける活動を重視し、地域や教育現場に寄り添った演奏活動を積み重ねている。



- 指揮:河合尚市



東京藝術大学卒業。劇団四季『オペラ座の怪人』日本初演の指揮や全国的主要楽団との共演を重ねる。日本屈指のバレエ指揮者として活躍する傍ら、長年青少年の育成にも尽力している。尚美学園大学名誉教授。

- 司会:西端ちひろ



10年以上のキャリアを持つ子ども向けステージのプロフェッショナル。うたのおねえさんや『妖怪ウォッチ』公式MCを務め、人気キャラクターのショーを多数担当。透き通る声と卓越した進行で親子の笑顔を届けている。

■ 本件に関するお問い合わせ

社会福祉法人さぽうと21(担当:山崎)

メール:s21kodomo@support21.or.jp

電話:03-5449-1331(平日 14:00~17:00)